真夏のブラジルから～ポルトアレグレ編-

豊田通商(株)　語学研修生
人見　悠貴

飼料輸出入協議会会員ならびに関係者の皆様、新年明けましておめでとうございます。ブラジル南部リオグランデ・ド・スル州の都市ポルトアレグレより謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年 5 月より語学研修という機会を頂き、ホームステイという環境と共に語学学校でポルトガル語を学習する毎日を過ごしております。

ポルトアレグレの気候は東京と似ており、春・秋は過ごしやすく、夏は暑く湿度が高い(12/9 時点で最高気温 37℃)、冬は寒く雨が多いというものになります。赴任当初の 5 月は日本の過ごしやすい春から寒く雨の多い毎日に変わった事で、赴任当初は夏を焦がれ、とにかく冬が過ぎることを願う毎日でもありました。

皆様にとって、リオグランデ・ド・スル州は大豆の生産が盛んな州である事からご存じである方も多いかと思います。一方で、旅行先としてインターネットで「ブラジル_旅行_おすすめ」と調べてみると、どのサイトにも引っ掛かってこないという残念？な結果となりました。その為、新年のご挨拶の場をお借りし、ここポルトアレグレの魅力を少しだけ皆様にお伝えさせて頂ければと思います。

【文化】

やはりブラジルといえば、サッカーを思い浮かべる方が多いのではないかと思います。勿論ここポルトアレグレにも、セリエ A(日本でいうプロサッカー1 部リーグ相当)のチームが今シーズン 2 チームあり、非常に人々の生活にも影響を与えています。

まずは、「グレミオ」というチームですが、ベースカラーが青色であり、

非常に歴史あるチームとなっています。

もう１チームはライバルにあたる､｢インテル｣というチームになります。ベースカラーは赤色で1900年代グレミオは欧州の移民を中心とした上流階級のコミュニティとなっており､誰でもサッカーを出来る場としてインテルが創設されました。

よく青色の服や赤色の服を着てタクシーに乗ったり､レストラン店員と会話すると､気になってしまうのか質問されることが多々あります。ちなみに私はホームステイ先の方々がグレミスタ(グレミオファンの総称)という事もあり､一応グレミオを応援しています。どちらのチームのスタジアムもポルトアレグレの中心街にある為､もしポルトアレグレに訪れる際は､スタジアムで試合観戦するのも良いかと思います。特にサポーター席での観戦は､周りの現地サポーターは応援歌を歌っていますが､歌が分からなくても一緒に盛り上がれる為､雰囲気や応援を楽しみたい方にはもってこいなのかもしれません。また､この２チームの試合はグレナウと呼ばれており､世界的に見ても歴史のあるダービーの１つと言われ､非常に盛り上がるイベントでもあります。

グレミオ得点後　現地サポーター

インテルナショナル　スタジアム前

【食】

ブラジルでは、ここポルトアレグレ含め、リオグランデ・ド・スル州にいる方は総称して「ガウーショ」と呼ばれています。そんなガウーショ達はブラジル伝統料理のシュラスコを自分達発信の文化として誇りを持っています。というのも、リオグランデ・ド・スル州がパンパ(広大な草原地帯)地域に属しており、牛の飼養頭数がかつて非常に多かった事から、シュハスコを始めた事がシュラスコの起源となっている為です。各家庭にシュハスケイラ(シュラスコ用のグリル)が備わっていることが多く、週末は家族や友人を呼んでシュラスコパーティーを行うことが習慣にもなっています。シュハスカリア(シュラスコのレストラン)も多く構えており、ランチでもグリル肉が提供されることが多くあります。また、ランチはビュッフェ形式になっている店が多く、一定の重量を超えると既定の金額以上にはならないお店もあり、つい食べ過ぎてしまう事も多々あります。

よく行くビュッフェレストラン Tasco Bistro

ホームステイ先のシュハスケイラ

【人】

私がこの半年程で経験した限り、「ガウーショ」は非常に人情に厚い方々が多いという印象を持っています。上述しました、シュラスコパーティーの文化やシマホーン(マテ茶)を数十人で回し飲みする文化があるなど、仲

手前男性　タクシー運転手　グレミオスタジアム前レストラン

ポルトアレグレ近郊　滝で出会った方々

間意識が強く何事も皆で楽しもうとする文化があると感じております。そのような人間性があることから、私もオープンマインドで接し、話が盛り上がることがあれば、タクシー運転手と What up を交換し飲みに行く、散髪屋にムエタイ教室に誘われ一緒に通う、自然を感じにフラッと行った滝で出会った方々と BBQ するなど日本では起こりそうに無い面白い？経験を多々することが出来ています。BBQ は生焼けの肉だったのか、帰宅後に異常な腹痛と高熱に悩まされましたが、今では学びになったとポジティブに考えております。

右上 散髪屋 Rodrigo、ムエタイ教室

【最後に】

2025 年は国際情勢の変化や経済環境の不安定さなど、多くの出来事に目を配る毎日だったかと存じます。2026 年は皆様にとって素晴らしい年となるよう、ここポルトアレグレより祈念しております。つたない文章ではありましたが、ご拝読頂き誠に有難うございました。是非、ポルトアレグレ、ブラジルにお越しの際はお声がけ頂けると幸いです。Feliz Ano Novo!, Boa Sorte! （明けましておめでとうございます。ご幸運を！）